自治協議会が“今”を発信

田篭地区

（No.３）

安全・安心そして豊かな地域づくり

大災害の発生

田篭地区では、平成24年７月に九州北部豪雨により大きな被害を受け、そのこともあって、世帯数、人口ともに減少しています。今年の７月５日には、朝倉市・東峰村・大分県日田市を豪雨が襲い、大災害を目の当たりにし、また、報道によりその被害の規模の大きさ、強さ、そして犠牲者の多さに驚くばかりです。亡くなられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方にお見舞い申し上げます。安全安心な地域をどうしてつくるか、人命第一に避難をどうするか、常に検討し、努力しなければならないと考えます。

先進地視察

地域の振興発展の道を探すため、近県の先進地を11月頃に視察しています。視察先には、前年度に「豊かなむらづくり全国表彰事業」の九州ブロックでの受賞団体を選んでいます。平成28年度は、前年に農林水産大臣賞を受賞した大分県別府市の「内成（うちなり）の棚田とむらづくりを考える会」を視察しました。平成27年度の視察先は、前年に九州農政局長賞を受けた、杵築市の「農事組合法人 こめ・こめ・くらぶ」でした。

▲むらづくりのヒントを得ようと真剣な表情で視察する参加者

拡大運営委員会

まず４月に、新旧の班代表者や運営委員、各部の部長、組織の代表が集まり、総代会（総会）を開催し、自治協議会の前年度事業、会計報告、新年度事業計画、予算案を審議します。その他に、自治協議会役員、班代表者及び班から選出された運営委員が集まり、拡大運営委員会を９月と12月に開催しています。自治協議会や各部、組織の活動報告、今後の事業について協議しています。

▲内成棚田はうきは市の「つづら棚田」と同じく、農林水産省から日本の棚田百選に認定されています

顔を合わせ語り合う田篭新年会

毎年の恒例行事で、これまでかなりの回を重ねています。毎年１月の第２日曜日の午後６時から会費制で女性部にお世話をお願いし実施しています。新年のあいさつの後はすぐに、語り合う時間になります。地域の話題などで大いに盛り上がり親睦を深めます。住民が少ない地区だからこそできる行事だと思います。

▲人口が少ないからこそ、地区住民が一堂に会し、田篭のむらづくりについて楽しく語り合い、絆を深めています

●問合せ　市民協働推進課　コミュニティ支援係℡７５～４９８２